

# 「OITA SOFTBALL DREAM PROJECT」

大分県ソフトボール協会

## 1 プロジェクトの目的

### 1.1 背景

2016年8月3日。国際オリンピック委員会（IOC）の総会にて2020年東京オリンピックで女子ソフトボールが2008年北京オリンピック以来の正式競技に復帰した。2008年北京オリンピックで日本は金メダルを獲得し、あの熱狂をもう一度、と国民の関心も強くなっている。また、日本のソフトボール関係者も復活の喜びとともに、オリンピック競技に携わっていることに誇りを持ち、いよいよ2020年に行われる自国開催に盛り上がりを見せている。さらに（公財）日本ソフトボール協会では、オリンピックへの復帰が確実となった折、2020年東京オリンピックでの金メダルの獲得、そして2024年パリ大会、2028年ロサンゼルス大会に向けての強化をはじめ、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、中南米諸国など、世界のソフトボール競技の普及・強化・教育などの支援を展開しようと、世界に貢献する体制をつくりあげている。しかし、大分県では少子化の加速、競技の多様性もあいまって、ソフトボールに親しむ子どもたちが激減し、小・中学生のチーム、選手の減少が止まらない。ソフトボールの魅力を感じさせ、小中学生の競技者の増加、しいては競技力の向上が今後の大分県ソフトボール協会の喫緊する課題である。さらに、県内の公認指導員の有効活用や資質の向上、育成といった観点からも課題がある。そのような状況を打破すべく事業の展開が急務となっている。

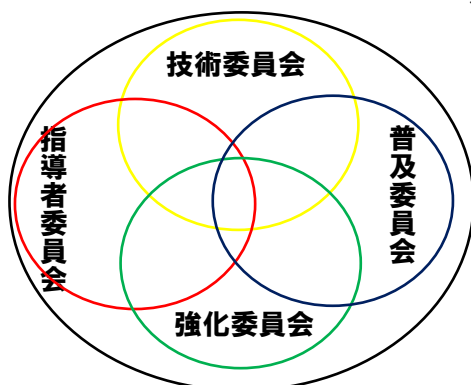
### 1.2 目的

各委員会が持っているノウハウや強みを集結し、横断的に協力することにより、小・中学生チームの選手・チーム減少を食い止めることはもちろん、ジュニア選手・チームの増加、競技力向上、指導者の育成・資質向上を目的とする。現存する様々な課題を改善し、更に大分県のソフトボールを発展させる。

## 2. 達成目標

- ① 少年団・中体連チームの減少に歯止めをかけ、小中学生チームを増加させる。
- ② 県内の公認指導員を有効活用し、積極的に講習会に派遣し指導、資質の向上を図る。
- ③ 2028年までに都道府県対抗大会（中学生）、国体（少年男女・成年男女）で入賞する。
- ④ 2028年までに日本代表選手（男女問わない）を輩出する。（U14/U16/U19/TOP）

## 3. プロジェクトチーム体制図



### プロジェクトチームメンバー

#### リーダー

県協会技術委員長

#### 副リーダー

県協会強化委員長

#### プロジェクト委員

県協会指導者委員長

#### プロジェクト委員

県協会普及委員長

## 4. 事業案

### 1) 小中学生チームサポート

- ① 新入部員獲得のための短・中・長期的な計画・実施と実践例の共有
  - ・〇〇校区ソフトボール体験会の実施と実践例の共有
  - ・小学校、特別支援学校教員対象「ベースボール型」授業研究会の実施（別途事業）
  - ・幼稚園でのソフトボール体験活動の実施（別途事業）
- ② 新規チーム発足に向けてのサポート
  - ・中学校にソフトボール部がない生徒の支援
  - ・専門的な指導を受けられる安定した環境の提供
  - ・指導者の有効活用
  - ・チーム発足に向けて相談窓口の設置
- ③ 練習サポート
  - ・既存、新規小中学生チームの技術指導ならびに練習相談等のサポート
  - ・定期的な研修合宿の実施
  - ・指導者の有効活用
  - ・ジュニア練習会

### 2) ジュニア練習会の実施

- ① 県内のジュニア層の選手・指導者に対して、県内各地の日本スポーツ協会公認上級コーチ、コーチ、指導員等の指導者、ならびに県内外で活躍した指導者、日本代表選手や日本代表の指導に関わったことのある指導者が専門的な指導を行う。実施にあたっては、各ブロックの拠点地の支部協会の協力を得て実施する。（指導者の有効活用）
- ② 県内6ブロック（原則）を冬期（11月～2月）に行う。
- ③ 指導は小学1年生から中学3年生までとし、経験者、初心者問わず行う。また、選手の習熟度によって適切な指導を行う。

### 3) 小中学生ソフトボールチームの研修合宿を実施

- ① 大分県ソフトボール協会主催、夏季研修合宿の開催
- ② 大分県ソフトボール協会主催、冬季研修合宿の開催

### 4) 強化指定選手（小中学生男女）の指定と練習会のサポート

- ① 強化練習会・強化合宿等で指導者を派遣し、実技指導ならびに講義などの競技力向上のためのサポートをする。（技術指導・栄養指導・トレーニング指導・心構え指導等）

### 5) 中学3年生のチーム引退後から高校入学までの練習会実施

- ① 高校においてソフトボールを継続する選手に対して、競技力向上（維持）のためのサポート（9月、10月、11月、12月の原則として月に1回のペースで計4回）